

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7 (直通) FAX 042-481-7550

email kankyuu@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2023年3月
第49号

刊行物登録番号
2022-250

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



喫煙マナー & 地球温暖化防止啓発ポスター・標語展

お知らせ

例年市では、歩きタバコやポイ捨てをしている大人を見て感じた思いをポスターや標語に乗せた作品を応募いただき展示を行う、喫煙マナーポスター・標語展を開催しています。令和4年度は新たにポスターや標語を通じて地球規模の環境問題について考えていただくことを目的に、地球温暖化防止部門を加え、喫煙マナー部門、地球温暖化防止部門の2部門から、ポスター及び標語作品の募集・展示を実施しました。

両部門合わせて、ポスターは57点、標語は5点もの多くの応募をいただきました。

また、応募いただいた作品は、令和5年2月10日(金)

から2月16日(木)まで、調布市文化会館たづくり11階みんなの広場にて、展示しました。そして、来場者による投票及び環境政策課職員による投票の結果、下記のとおり優秀作品を決定いたしました。

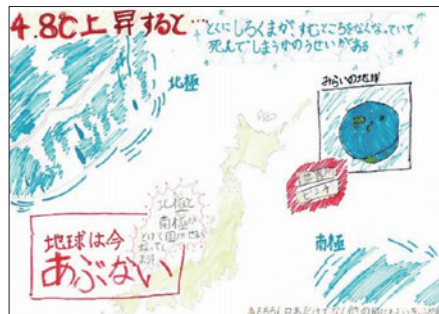
多くのおみなさんの作品応募、またご来場をいただきましてありがとうございました。



ポスター・標語募集のチラシ



喫煙マナーポスター部門 優秀作品
国領小学校5年生



地球温暖化防止啓発ポスター部門 優秀作品
石原小学校3年生

喫煙マナー標語部門 優秀作品
ペンネーム mioさん
『つくろうよ 歩いて気持ちの
良い街を』

地球温暖化啓発標語部門 優秀作品
ペンネーム mioさん
『はじめよう 一人ひとりが
出来ること』

コラム

調布市はゼロカーボンシティを目指しています

令和3年4月に、調布市と調布市議会は、脱炭素社会の実現に向けて「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。

このたび、市民の皆さんに宣言を知っていただき、気候変動の危機意識を共有するため、市庁舎に懸垂幕、グリーンホールに横断幕を掲げました。

家電製品の使い方を見直す、食べられる量を買う、使い捨てプラ



できることから
始めよう

スチックの使用をなるべく減らすなど生活のちよつとした工夫が地球温暖化防止に繋がります。



調布市グリーンホールに掲げられた横断幕

雑木林ボランティア講座

活動報告

第6回「市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ」

12月3日(土)に「市内樹林地見学バスツアー・ワークショップ」を3年振りに開催しました。

貸切バスにて市内の布田崖線緑地(凸凹山)、若葉町3丁目緑地及び入間町1丁目緑地を巡る見学会を行いました。各樹林地で環境保全活動を行う市民団体の方から活動の様子などの説明を受け、樹林地の維持保全の大切さを学びました。

その後、入間地域福祉センターに移動し、ちょうふ環境市民会議の方をファシリテーターに「どのような雑木林にしたい」等をテーマにしたワークショップを

行いました。

受講者の皆様からは「子どもが遊べる場所にしたい」、「落葉樹が多い場所にしたい」、「老齢木を更新したい」等、貴重なご意見をいただきました。



若葉町3丁目緑地 見学の様子



ワークショップ発表の様子

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくためのボランティア養成講座です。雑木林の維持管理に役立つ知識や技能を習得します。

参加者募集

市報4月5日号にて、雑木林ボランティア講座の会員を募集しますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申込み方法などの詳細は、市報又は市ホームページをご覧ください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前10時～午後3時開催予定
- 2 対象/18歳以上の方
- 3 費用/1,500円(ボランティア保険料・テキスト代)

調布市環境モニター

活動報告

第5回賢い生き物? 迷惑者? カラスの不思議

2月26日(日)に東都大学ヒューマンケア学部の杉田昭栄教授を講師に迎え、神代植物公園で「第5回賢い生き物? 迷惑者? カラスの不思議」講座を開催しました。

カラスの知的行動

カラスは頭の良い生き物として有名です。例えば、そり遊びをしたり、滑り台で遊んだり、鉄棒の大車輪遊びを電線でする様子などが観察されています。

カラスは黄色が苦手ではない

ハシブトガラスは人間よりも広い波長の範囲を視認できると考えられており、人間よりも色を見分ける能力が高いそうです。人間の目は3原色ですが、カラスは紫外線を加えた4原色で

見ているそうです。参加者から「カラスが嫌がる色はあるか」という質問に対し、講師から「残念ながら嫌がる色はない。黄色のごみ袋が流行しているが、黄色自体が有効なのではなく、紫外線をカットする成分が入っているかが重要」とのことです。紫外線をカットするごみ袋は、人間には袋の中身が見えて、カラスには袋の中身が見えないため、カラスの興味がそがれるとのことです。



講座の様子



カラスのはく製

環境モニターは、市民と市が協働で市内の自然環境を見守り、自然環境の保全に役立てていくというグループです。令和4年度は、「身の回りの毒生物」「クマムシってどんな生き物」「カラスの不思議」などの講義を通じ、自然環境への理解を深めました。

参加者募集

市報4月5日号にて、調布市環境モニターの会員を募集します。新しい内容の講座を用意して皆さんをお待ちしておりますので、自然環境の保全に興味がある方はぜひお申し込みください。

- 1 日程/年6回程度 ※原則土曜日の午前中実施予定
- 2 対象/原則18歳以上の方
- 3 無料

調布こどもエコクラブ

活動報告

第6回 火起こし体験

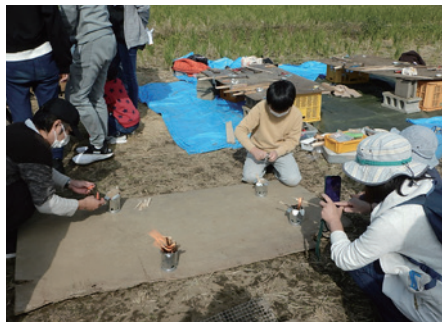
11月5日(土)に、柏野小学校北側の公有地で、火起こし体験を行いました。人の生活を支える大きな要素である「火」の取扱い方を学びました。

今回は、缶を二つ使い、ウッドバーニングストーブと呼ばれる火起こし道具の工作を行いました。ウッドバーニングストーブは、下から上へ空気の流れを作ることによって燃焼効率が上がり、少量の小枝でもよく燃え、簡単に火種を作ることができます。

まずブリキ缶の下部に穴を3～4個開け、空気の通り道を作ります。次にアルミ缶の下部と底に小さい穴を10個くらい開けたら、アルミ缶をブリキ缶の中に入れます。ストーブができたなら、燃えやすい麻ひもをくずして火口を作り、ファイヤースターターで火をつけます。火がついたら小枝に火を移らせて完成です。親子で協力して火をつけることができ、皆さん充実した様子でした。



火起こし体験の様子



作ったウッドバーニングストーブ

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などでの自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。市報4月5日号にて、市内の小中学生を対象に調布こどもエコクラブの会員を募集しますので、興味がある方はぜひお申し込みください。申込み方法などの詳細は、市報又は市ホームページをご覧ください。

参加者募集

- 1 日程/年7回程度 ※土日祝日実施予定
※田植え体験、稲刈り体験、昆虫採集、野川でガサガサなどの講座を開催する予定です。
- 2 対象/市内在住、在学の小学1年生～中学3年生 ※小学3年生以下は要保護者同伴
- 3 費用/原則無料(内容によって材料費等の実費負担あり)

いきものフォトコンテスト受賞作品

お知らせ

市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、市内に生息する野生の生き物主体の写真を募集しました。

2022年度(令和4年度)は、多摩川部門、市内部門の2部門で募集を行ったところ、多摩川部門34点、市内部門38点、合計72点の応募をいただきました。

このたび、全ての応募作品を多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者の投票と専門家の評価の結果、10点を受賞



令和4年度【市内部門】
多摩川自然情報館大賞「あしたを生きる」
伊藤 美保子さん

作品に決定いたしました。たくさんの応募、投票をいただき、ありがとうございました。

その他の受賞作品は市ホームページ参照



令和4年度【多摩川部門】
多摩川自然情報館大賞「夕景」
石原 耕彦さん

多摩川クリーン作戦

活動報告

春の多摩川クリーン作戦

令和4年4月10日(日)午前8時から9時まで実施。
1,037人の多くの皆さまが参加されました。

(回収ごみの内訳)

可燃 30 kg 不燃 200 kg

粗大ごみ 100 kg

ビン 28本 缶 320本

ペットボトル 580本



春の多摩川クリーン作戦の様子

秋の多摩川クリーン作戦

令和4年11月13日(日)午前8時から9時まで実施。
912人の多くの皆さまが参加されました。

(回収ごみの内訳)

可燃 130 kg 不燃 200 kg

粗大ごみ 500 kg

ビン 8本 缶 180本

ペットボトル 285本



秋の多摩川クリーン作戦の様子

令和5年度 春の多摩川クリーン作戦

参加者募集

多くの皆様のご協力により、毎年春と秋に行う多摩川クリーン作戦も、通算で86回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進するため、皆さん是非多摩川クリーン作戦にご参加ください。当日は、動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

問合せ/環境政策課生活環境係 042-481-7087

- 1 日 時/令和5年4月9日(日)(予定) 午前8時~午前9時(少雨決行)
- 2 集合場所/○団体参加 多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示)
○個人参加 京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)
- 3 持ち物/軍手(お持ちの方)
- 4 その他/新型コロナウイルス感染症の感染状況や荒天により、中止する場合があります。中止の際には、市HPにてお知らせいたします。

犬を飼われる皆様へ

飼い犬の登録と狂犬病予防注射はお済みですか

お知らせ

犬の飼い主には、

- ① 現在居住している市区町村に飼い主の登録をすること。
- ② 飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を接種させること。
- ③ 鑑札と注射済票を飼い犬に装着すること。

が法律により義務付けられています。また、飼い犬の登録内容に変更(飼い主の変更や死亡等)が生じたときも手続きをお願いします。

なお、狂犬病予防注射は毎年4月1日から6月30日までの間に接種し、注射済票の交付を受けてください。

また、4月11日から15日にかけて市内の公園等で狂犬病予防定期集合注射を実施します。詳細は市報ちょうふ3月20日号に掲載していますのでご覧ください。



コラム

春の植物

日を追うごとに暖くなり、調布にもいよいよ春がやってきました。調布市内には、崖線樹林に代表される雑木林や多摩川などの河川、人々が活動する市街地など様々な環境がありますが、それらの環境にうまく適応して育っているのがスミレの仲間です。

スミレの仲間は属名を *Viola* といいます。これはラテン語で「紫色」の意味です。

その名の通り、花が紫色をした「スミレ」は市街地の路傍で見られるほか、自然地に多く見られる花

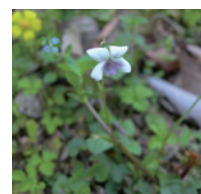
色が少し薄めの「タチツボスミレ」や湿った場所に生える白い花の「ツボスミレ」など、様々なスミレが見られます。



スミレ



タチツボスミレ



ツボスミレ